



414  
A. 339

先般在預北越大河洋堀刻一伴進之  
 而多之為在( ) 爲有( ) 有之役死  
 下上通り休六午五月進成切( ) 配( ) 在  
 得( ) 是非年( ) 人足( ) 屋建( ) 渡( ) 部( ) 村( ) 務  
 轉( ) 之( ) 事( ) 有( ) 十( ) 五( ) 日( ) 中( ) 之( ) 難( ) 以( ) 為( ) 此  
 大( ) 業( ) 初( ) 限( ) 目( ) 的( ) 無( ) 主( ) 人( ) 以( ) 後( ) 幾  
 年( ) 相( ) 減( ) 之( ) 程( ) 計( ) 應( ) 之( ) 費( ) 用( ) 之( ) 高



大正十一年四月  
大隈侯爵郵寄贈

2586



一 本有品前建白は通り外五月期限  
を致し書付は度々同何卒願之通り早  
沙委任は仰付抗言を道義就あり  
尚情密きたり上水

一 堀割一件沙委任は願上儀は全兵馬陸却  
し若し水田開き田畑と目的は河川越  
えし無くは堀割成りし上若干は新田

公事より得兵夫は任外は儀は園侍は  
平に候

一 沙委任は願上自こ方より一手堀割  
は儀は上り大坂表の儀は操出百姓が借  
借あを以指揮は得を新に候は候  
可仕は若し一は取扱得を以公儀を  
仕し必半途は廢しは憂て有る事

存本

一 方板者... 後沙... 用辨... 事... 實... 其... 小... 即... 兩... 兩...

二千... 兩... 約... 用... 者... 其... 其... 其... 其... 其... 其...

一 堀... 堀... 堀... 堀... 堀... 堀... 堀... 堀... 堀... 堀...

一 河下を多し備は若干に新田は必ず其の良  
田直りい出る者地は有し河下例の外河  
收納并は出居る有る事一ふたふた河  
に法は平し河下千金といふ當五附一  
存本

一 此河は免南諸人新田拓す目的は  
種々自福りといふ者柳實曆二年より中

其洲兼系系試り河下は合備は其  
法は其土地の利潤を一人に採りて其  
に仕法は民心帰服をたまはぬ眼前  
方利をたひんかりてこの害隆却と道  
を考い終に一國を河下と波野とを  
四ヶ所

一 右方細末の山目を追て河下は得九河分宗  
早一幸河下移して今如何に切込押後

召河年甲子願之通り口  
段成市家原奉進願書上  
仰有瓶此

己十二月

野路井熊雄